



目指せ！魅力ある農業



設楽 崇之さん
(下延生)

新規就農して農業に従事し、はや5年がたちましたが、以前から掲げていた目標のスタートラインにやっと立てるように思います。

1反あたりの収量をあげることはもちろんですが、持続的かつ安定的な経営でなければなりません。また作業に費やす時間が多大で、重労働もあり労働生産性の低さが目立つこともあると思います。家族も農業労働に加え、家事・育児さらには介護などの労働過重で、適正な労働の評価ができない部分もあるのではないのでしょうか。

初期投資を抑えることはもちろん、省力化・効率化を図り、生産性を上げなければ農業の魅力は損なわれ、若い担い手はさらに減少していくのではないのでしょうか。

忘れないで



藤 和子さん
(八ツ木)

私は、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に災害の少ない町と聞き、芳賀町に引っ越してきました。暮らし始めて早いもので4年がたとうとしています。

見知らぬ町での生活に最初は戸惑いや不安がありましたが、芳賀町の方々はとても親切に接してくださいました。今ではとても快適に暮らしています。

ですが忘れないでください。いつ、どこで災害が起こるかわかりません。

「天災は忘れた頃に来る」寺田寅彦博士が関東大震災後に書いた有名な警句です。普段から防災について関心を持ち、災害時の家族の連絡方法・避難場所の確認・非常食の準備、そして身の回りに危険箇所がないか改めて見直してみたいはいかがでしょうか。

また、最新技術のドローンは、人が立ち入りにくい災害現場の状況確認と迅速な救助と処置が可能になります。近い将来芳賀町でも必要になってくるのではないのでしょうか。

子育て支援に感謝！



齋藤 裕美さん
(東水沼)

芳賀町では、子育て支援に力を入れてくださっていて、「18歳までの医療費無料化」や「学校給食費の補助」など他の市町ではないようなものから、その他様々な助成があり子育て中の私たちにとって、とても有難い事だと思っております。

また、学校施設はとてもきれいで、冷暖房完備という恵まれた環境の中で勉学に励むことができる子どもたちはとても幸せなことだと感じております。

町外に住む友人にも「芳賀町っていいよね。」と言われることが多く、その度に芳賀町で子育てできることに誇りを感じております。

しかし、このような恵まれた環境にいる子どもたちを見てみると「学力低下」や「運動能力の低下」が深刻な問題になっており、これからはそれらの問題にも力を入れていかなければなりません。

これからも、子育て中の親と子どもたちに寄り添った町の政策に期待しております。